

(軍事費+防衛力強化資金) 防衛関連予算 4.8 兆円増

前年度比+ 89.4%

戦後最悪の予算案 衆院通過



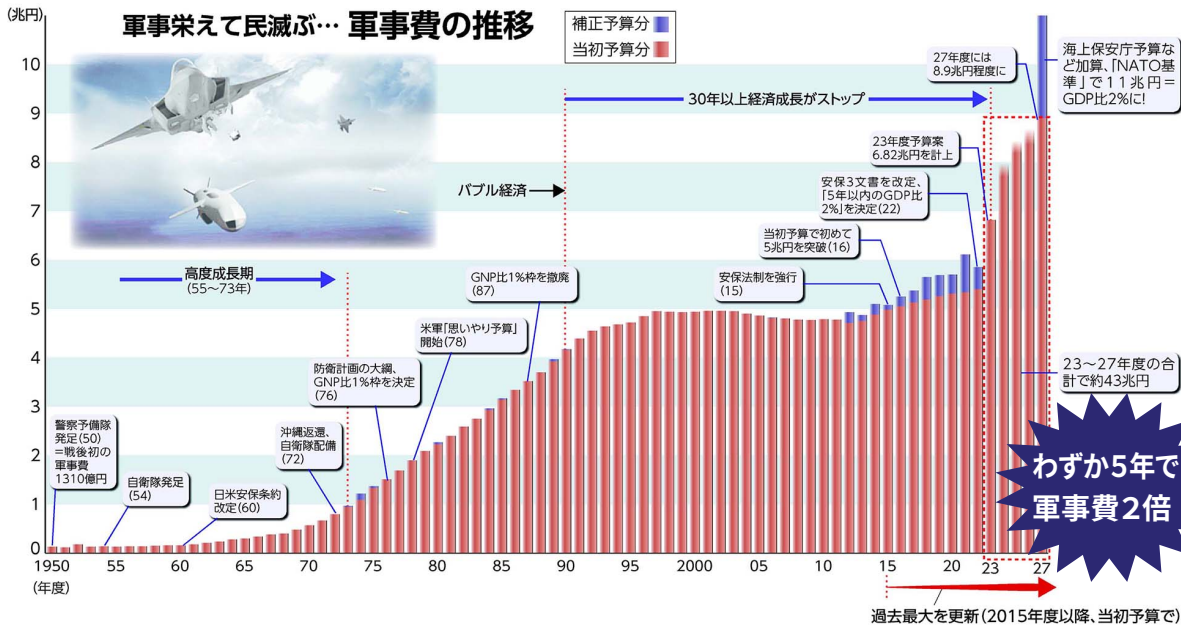
日本共産党 志位委員長

大軍拡予算に抗議



記者会見はこちら

日本共産党の志位和夫委員長は28日記者会見し、2023年度予算案が衆院本会議で可決されたことに「(岸田政権は) ことごとく根幹部分でまともな説明をできないまま、大軍拡予算を強行した」「まともな説明をやること抜きに数の力で採決を強行したことに強く抗議する」と述べました。



根幹部分でまともな説明なし

志位氏は、「今度の予算案は敵基地攻撃能力の保有と空前の大軍拡という、かつてない危険な道を具体化しようという戦後最悪の予算案だ」と指摘。

日本共産党としてはその危険性に切り込み、敵基地攻撃能力保有と憲法との関係や「専守防衛」との関係、自衛隊と米軍が「融合」する形で先制攻撃を行う危険性などを追及してきたが、答えがなかったと述べ、「根幹部分でまともな説明がないまま大軍拡予算を強行した」と強く抗議しました。

軍事費突出、くらしの予算圧迫

さらに、「軍拡の圧力によって、社会保障関係費は自然増1500億円が圧縮され、文教費は実質マイナス、中小企業費、農林水産費はマイナスだ」と強調。

岸田文雄首相が掲げた「子ども予算倍増」について「何を倍にするのかという基本のところがいまいになり、スローガンだけに終わっている」と批判。

一番求められている教育費負担軽減の提起には全く答えがなかったとして「『異次元の子育て支援』というが、羊頭狗肉の最たるものだ」と述べました。

日本共産党の
対案!

長距離巡航ミサイル「トマホーク」の購入など、敵基地攻撃能力を具体化する予算を全額削除し、最低賃金の大幅な引き上げや消費税5%への緊急減税、インボイス導入の中止、教育の無償化の推進、男女の賃金格差は正など、全8項目を提案する、予算組み替え動議を提出しました。

戦争する国づくりをすすめる岸田自公政権に、統一地方選挙でNOの審判を



「軍事費削り、国民生活まわれ!!」
の声を、一緒に広げていきましょう

反戦平和を掲げて101年。
日本共産党を、応援してください。



参議院議員(東京選挙区選出)

やまぞえ・たく

山添 拓

東京
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2023年3月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党

(軍事費+防衛力強化資金) 防衛関連予算 4.8 兆円増

前年度比+ 89.4%



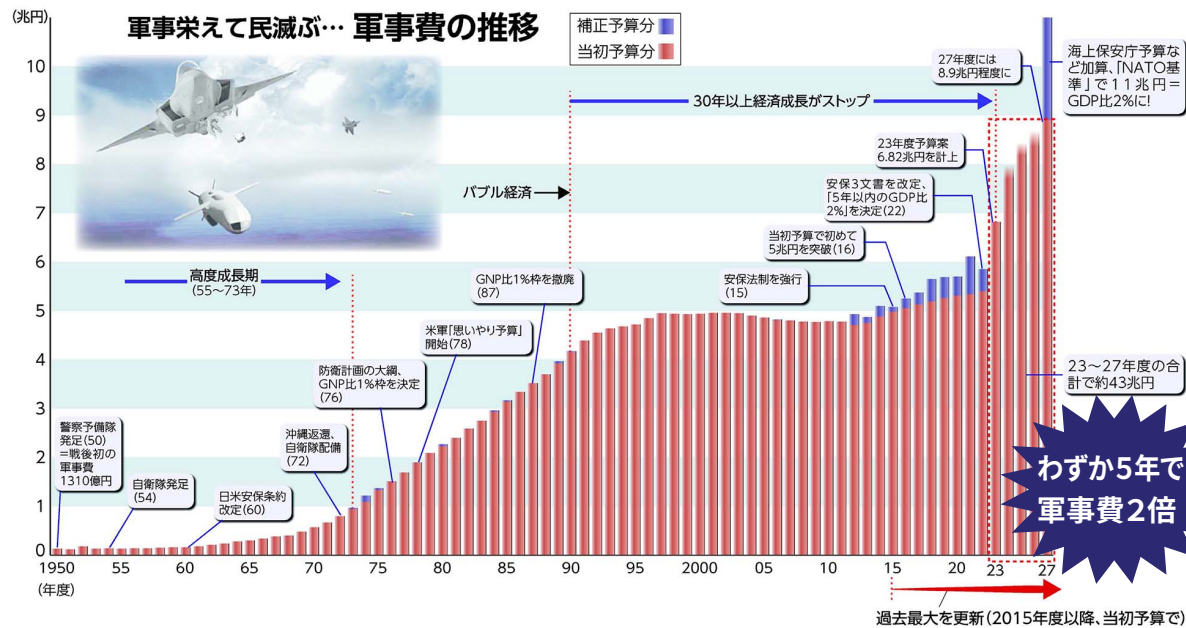
日本共産党 志位委員長

大軍拡予算に抗議



記者会見はこちら

日本共産党の志位和夫委員長は28日記者会見し、2023年度予算案が衆院本会議で可決されたことに「(岸田政権は) ことごとく根幹部分でまともな説明をできないまま、大軍拡予算を強行した」「まともな説明をやること抜きに数の力で採決を強行したことに強く抗議する」と述べました。



戦後最悪の予算案 衆院通過

根幹部分でまともな説明なし

志位氏は、「今度の予算案は敵基地攻撃能力の保有と空前の大軍拡という、かつてない危険な道を具体化しようという戦後最悪の予算案だ」と指摘。

日本共産党としてはその危険性に切り込み、敵基地攻撃能力保有と憲法との関係や「専守防衛」との関係、自衛隊と米軍が「融合」する形で先制攻撃を行う危険性などを追及してきたが、答えがなかったと述べ、「根幹部分でまともな説明がないまま大軍拡予算を強行した」と強く抗議しました。

軍事費突出、くらしの予算圧迫

さらに、「軍拡の圧力によって、社会保障関係費は自然増1500億円が圧縮され、文教費は実質マイナス、中小企業費、農林水産費はマイナスだ」と強調。

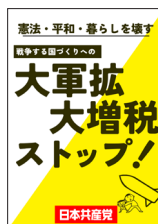
岸田文雄首相が掲げた「子ども予算倍増」について「何を倍にするのかという基本のところがいまいになり、スローガンだけに終わっている」と批判。

一番求められている教育費負担軽減の提起には全く答えがなかったとして「『異次元の子育て支援』というが、羊頭狗肉の最たるものだ」と述べました。

日本共産党の
対案!

長距離巡航ミサイル「トマホーク」の購入など、敵基地攻撃能力を具体化する予算を全額削除し、最低賃金の大幅な引き上げや消費税5%への緊急減税、インボイス導入の中止、教育の無償化の推進、男女の賃金格差是正など、全8項目を提案する、予算組み替え動議を提出しました。

戦争する国づくりをすすめる岸田自公政権に、統一地方選挙でNOの審判を



「軍事費削り、国民生活まもれ!!」
の声を、一緒に広げていきましょう

反戦平和を掲げて101年。
日本共産党を、応援してください。

東京
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2023年3月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党